企業・団体名（　株式会社光製袋工業所　）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	・『取組レベル』雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築及び差別に係る【行動規範】を作成中 です。 ・当面、経営者自らが相談窓口となり実践している。					○			○		○						○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	・ハラスメント研修を実施しております、また、ポスター等による啓蒙活動も実施している。					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	・時間外労働及び休日労働に係る３６協定を締結して、過度な長時間労働の防止に取り組んでいる。 ・労働基準法等の内容を理解し、長時間労働是正のための労働生産性の改善、労働 時間管理体制、多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応を行っている。 ・有給休暇の取得奨励等に積極的に参画できるなどの環境を整えている。								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	・『予定』現在、外国人の雇用実績がないですが、今後は雇用は必要不可欠と考えており、検討中です。				○				○		○							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	・2カ月毎の安全パトロール実施し、是正活動に取り組んでいる。			○					○									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	・全従業員に定期健康診断とストレスチェックを行っている。 ・メンタルヘルス相談窓口を所属長とし、悩み事柄等への対応に取り組んでいる。			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	・定年は65歳としているが、本人の希望により延長も可能です。 ・シニアスタッフ採用、障がい者採用に向けての安全・安心確保のための施設等の整備、職場環 境の改善を行っている。					○			○		○							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	・全従業員に定期健康診断とストレスチェックを行っている。 ・健康促進イベント実施、ウォーキング企画などを実施中です。			○					○									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	・職制・階層別の教育プログラムによる教育・訓練を実施しスキルアップを図っている。 ・上司による指導体制（OJT等）を実施している。 ・マイスター制度を導入し、積極的な能力開発を行っている。				○				○	○								

10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	・パートタイム労働法、労働契約法等の内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている。 ・期間契約職員(パート社員)においては、本人の希望に沿い勤務日数、勤務時間が選択できる制度としており、給与も決定している。							○		○							
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	・正確なゴミの分別と収集を行ってます。 ・法令順守として委託処分場の施設現地確認と処分状況の確認を実施している。										○	○		○			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・作業所内の蛍光灯のLED化を推進し省エネ化を行っている。 ・算定ツールなどを利用してエネルギー使用量を把握し、同使用量の削減目標を設定し削減に努めている。						○						○				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	・算定ツールなどを利用してCO2排出量を把握し、同排出量の削減目標を設定し削減に努めている。						○					○	○				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	・化学物質の使用量を把握してます。			○							○	○					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・冷却水循環装置による水の再利用により水の供給量を減らし、生態系に悪影響を及ぼさないように配慮している。														○		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	・自社の水利用状況を把握し、使用量削減等の計画を策定している。																
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	・FSSC22000（食品安全マネジメントシステム規格）を認証取得している。 ・FSSC22000の目標に環境目標（廃棄物・CO2削減）を設定している。			○			○	○					○	○	○	○		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	・省エネ、省資源の関するデーターを収集し、これらの削減計画計画を策定している。 ・食品安全方針の社内掲示、HPでの開示をしている。											○					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	・「取組レベル」太陽光発電を設置する段階です。						○						○				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	・食品衛生法に適合した原材料を使用していることを確認している。											○	○	○	○		
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	・正確なゴミの分別・収集を行ってます。 ・紙のリサイクルに取り組んでいる。					○					○	○	○	○	○		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	・一般的な相手も念頭に置き、企業情報を積極的にまた公正に開示するとともにお取引先をはじめとする社会からの声に十分に耳を傾け、事業活動に反映させております。 ・『取組レベル』「反社会的活動に対する姿勢」としての【行動宣言】を作成中です。															○	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	・地域社会において、「信用」、「信頼」の構築に努め、法令等を遵守し、経営の健全性を確保する。 ・『取組レベル』公正な競争に係る【行動規範】を作成中です。															○	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	第三者の知的財産権を尊重し、故意に侵害しないように努め、自社および、お取引先等の秘密情報を適切に管理をおこなっている。 ・『取組レベル』これらに係る【行動宣言】を作成中です。							○	○								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	・個人情報の保護に関する法律等の関係法令等を遵守しつつ、取り扱う個人情報の適切な保護と利用に努めている。															○	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	・食品衛生法に適合した原材料を使用していることを確認しているとともに、自社調達品の紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している															○	

27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	・取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取組状況の確認活動や情報共有を行い共に取り組んでいる。					○			○		○		○	○	○	○	○	○
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・製品・サービスに関する要求事項を明確化、レビューし、作業者の力量確保、インフラストラクチャ、作業環境が整備された段階での製品化し、製品・サービスの合否判定、顧客への引き渡し後も含めたプロセスの管理と妥当性の検証、これらのの仕組みの構築による製品・サービスの安全性を確保している。 これらは、FSSC22000（食品安全マネジメントシステム）にて仕組みを構築している。			○									○					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築 ・顧客の声を社内共有するための基本方針・体制・ルールの策定 ・従業員向け研修の実施している。 これらは、FSSC22000（食品安全マネジメントシステム）にて仕組みを構築している。									○								
30		【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	・弊社には開発・設計部門を有していないため、お客様へ製品の薄肉化、サイズダウン等での提案でプラスチック問題に取り組んでいる。						○						○	○	○	○		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	・弊社には開発・設計部門を有していないため、お客様へ製品の薄肉化、サイズダウン等での提案でプラスチック問題に取り組んでいる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	・地域との対話に基づく、事業の地域への影響、地域からの要望や改善事項の把握と対策の履行に努めている。 ・『予定』イベント企画（清掃奉仕）を計画中です。				○					○		○	○		○	○		○
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・『予定』イベント企画（清掃奉仕）を計画中です。				○							○			○	○		○
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	・弊社従業員に対して地産地消（農産物）への購入をPRしている。								○	○		○	○	○				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	・食品衛生、環境に関する法令、職場環境に関わる法令（労働安全衛生法等）についての評価をおこなっている。 ・内部監査において、これらの法令等の監査を通じて指導をおこなっている。 ・その他の法令等も最新・改正情報を入手し、社内に周知している。 これらは、FSSC22000（食品安全マネジメントシステム）にて仕組みを構築している。																○	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	・企業理念・企業方針、食品安全方針を伝えている。 ・食品安全目標を設定し目標管理を行っている。								○	○								○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	・食品衛生、環境に関する法令、職場環境に関わる法令（労働安全衛生法等）についての評価をおこなっている。 ・内部監査において、これらの法令等の監査を通じて指導をおこなっている。 ・その他の法令等も最新・改正情報を入手し、社内に周知している。 これらは、FSSC22000（食品安全マネジメントシステム）にて仕組みを構築している。																○	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	・経営トップが任務を遂行している。 ・『予定』CSR/SDG s のリーダー（ISO事務局を任命予定）及び責任者の任命を予定している。																○	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	・食品衛生、環境に関する法令、職場環境に関わる法令（労働安全衛生法等）についての評価をおこなっている。 ・内部監査において、これらの法令等の監査を通じて指導をおこなっている。 ・その他の法令等も最新・改正情報を入手し、社内に周知している。 これらは、FSSC22000（食品安全マネジメントシステム）にて仕組みを構築している。																○	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	・経営トップが任務を遂行している。 ・『取組レベル』CSRを含めた「行動規範」を作成中です。																○	

41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	FSMS（食品安全マネジメントシステム）の要求事項に基づき、利害関係者との外部コミュニケーションを通じて意見・影響度を把握、共有し、経営方針・目標等の改善に反映している。																○	○
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	・事業継続計画（BCP）の策定し、定期的な訓練を実施している。								○		○		○				○	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	・経営トップが任務を遂行している。 ・『取組レベル』CSRを含めた「行動規範」を作成中です。							○	○									○

【記載留意事項】
・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（２０２１年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むＳＤＧｓに関する内容（水素・燃料電池、４パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17